

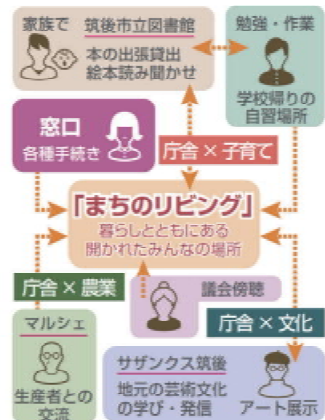
◀パブリックコメント資料▶ 「まちの交流拠点エリア」=「まちのリビング」+「筑後テラス」等

建築計画

新庁舎のテーマである“まちの交流拠点”の核を担う「まちのリビング」を構築します。

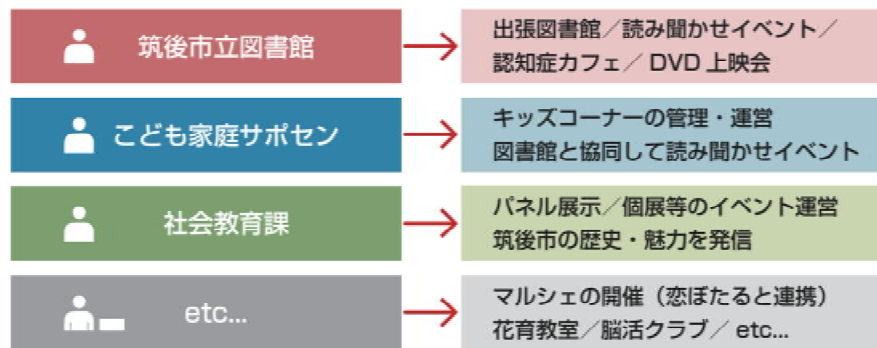
1階から4階まで連続した明るく開放的な吹き抜け空間を中心に、各階随所に多様かつ機能的な空間を点在させ、さまざまな交流拠点を創出します。

多くの市民にとってこれまでの庁舎は「手続きに行く場所」という認識であるが、新庁舎の大方針でもある“人と未来をつなぎ、夢をつむぐまちの交流拠点”を達成するために、みんなの場所となる「まちのリビング」の構築を目指す



「場所」をつくっても、実際に活用されなければ空間としての価値は生まれない  
“だれが”、“どのように” 運用していくのかまでを見据えた計画が必要

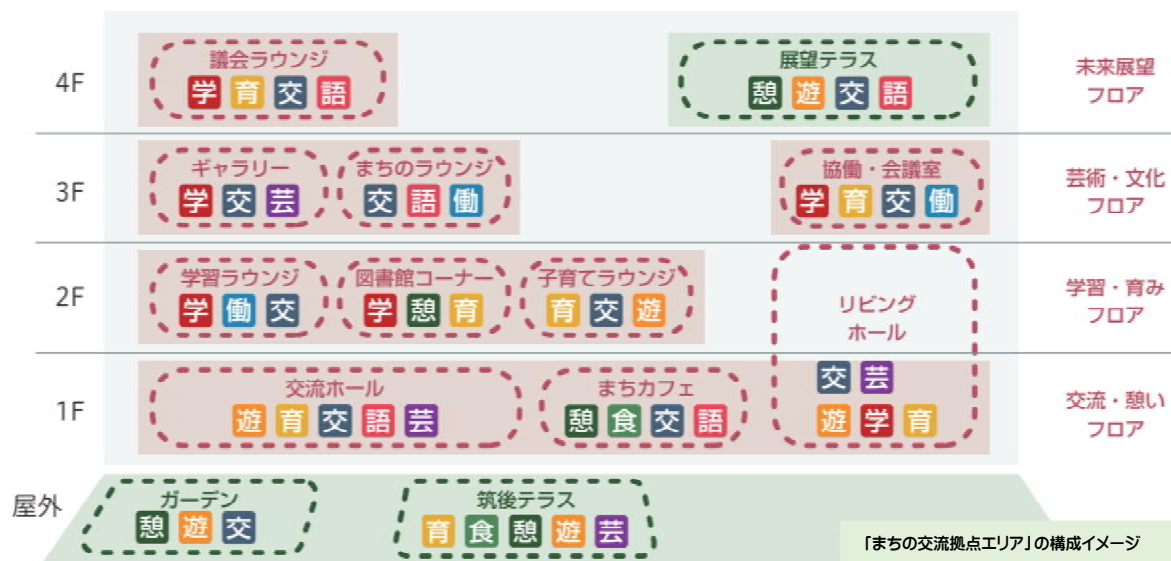
▶庁舎建設推進室とともに、各課・各団体へヒアリングを実施し、意見を集約



各課・各団体からヒアリングした“需要”をもとに、庁舎内の随所に空間を配置

—凡例—

- 交** : 多様な市民交流の場として機能する空間
- 学** : 自習したり、多様な学びを受けられる空間
- 育** : 育児に寄り添う、子どもと親のための空間
- 遊** : 様々な体験・アクティビティを生み出す空間
- 食** : 飲食物を提供したり、購入して飲食できる場所
- 語** : 落ち着いてゆっくり語らうことができる空間
- 芸** : 芸術・文化を発信したり体感できる空間
- 働** : 職員や市民のワークスペースとしても機能する場所
- 憩** : 自然を感じたり、リラックスすることができる空間



「まちの交流拠点エリア」の構成イメージ

《パブリックコメント資料》「まちの交流拠点エリア」=「まちのリビング」+「筑後テラス」等

建築計画

新庁舎は既存庁舎の南側に配置し、正面に内外一体の「筑後テラス」を設け賑わいを創出します。車寄せと車いす駐車場は出入口近くの西側に集約して雨に濡れない動線を確保します。「筑後テラス」を核に国道から敷地を東西に結ぶ「アプローチモール」を計画し、緑の居場所を点在させ施設間の連携を高めます。

- ・ 既存施設の運用を妨げず、限られた建設範囲での新庁舎配置
- ・ 敷地内の他施設との接続に配慮した歩行者の屋外動線を確保

新庁舎 建設時+運用開始時



全体運用時

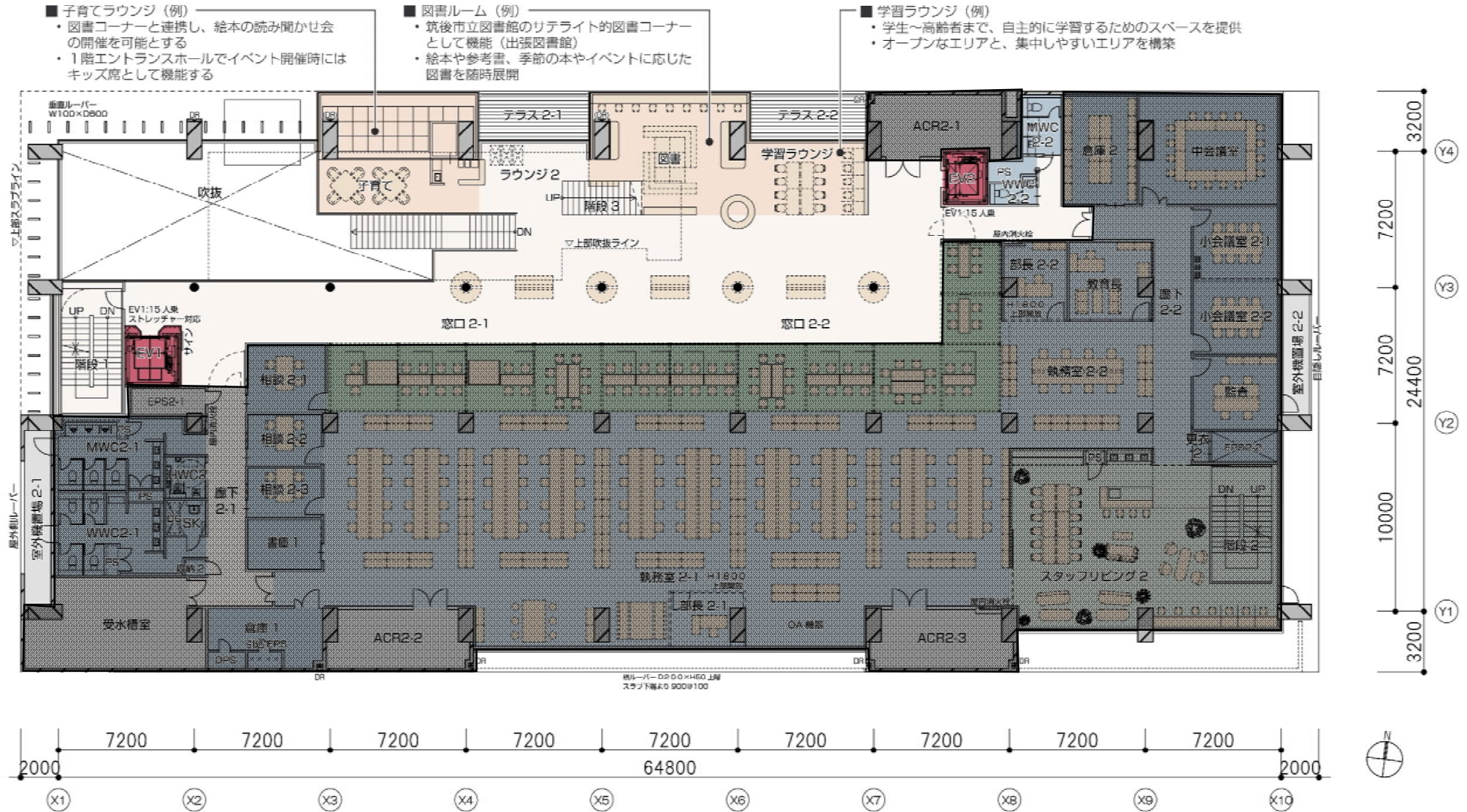




《パブリックコメント資料》「まちのリビング」2階平面図

建築計画

市民の空間は多目的に活用できるよう、子育てラウンジや図書ルーム、学習ラウンジなど多彩な空間を計画（内容については今後も継続協議）  
子育て世帯にも安心して利用できるような用途・機能を計画しています。







## 《パブリックコメント資料》 外観

### 建築計画

外観は、機能性に基づいた、伸びやかな水平庇を基調とし、頂部にある議場は、背景の山々や、筑後の風を意識した形状となっています。西日や南からの直射日射による負荷は木製ルーバーで制御し、内部の空調負荷を低減しながら、外観的な特徴とします。

